

高等学校における 道徳教育の充実に向けて

文部科学省初等中等教育局教育課程課
教科調査官 飯塚 秀彦



独立行政法人教職員支援機構

貴校では日常的に
どのような道德教育を
行っていますか？

担任として
部活動の顧問として
様々な生徒とのかかわりの中で

**人間として大切なこと
生徒に伝えていきますよね？**

- 1 高等学校における
道徳教育の概要
- 2 道徳教育の全体計画
- 3 チョイ足しによる
道徳教育の推進

- 1 高等学校における
道徳教育の概要**
- 2 道徳教育の全体計画
- 3 チョイ足しによる
道徳教育の推進

1 高等学校における道德教育の概要

高等学校学習指導要領（平成30年告示）第1章 総則 第1款 高等学校教育の基本と教育課程の2

(2) 道德教育や体験活動、多様な表現や鑑賞の活動等を通して、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努めること。

学校における道德教育は、**人間としての在り方生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通じて行うことによりその充実を図るものとし、**各教科に属する科目（以下「各教科・科目」という。）、総合的な探究の時間及び特別活動（以下「各教科・科目等」という。）の**それぞれの特質に応じて、適切な指導を行うこと。**

道德教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、**生徒が自己探求と自己実現に努め国家・社会の一員としての自覚に基づき行為しうる発達の段階にあることを考慮し、人間としての在り方生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道德性を養うことを目標とする**こと。

1 高等学校における道德教育の概要

高等学校学習指導要領（平成30年告示）第1章 総則 第7款 道德教育に関する配慮事項

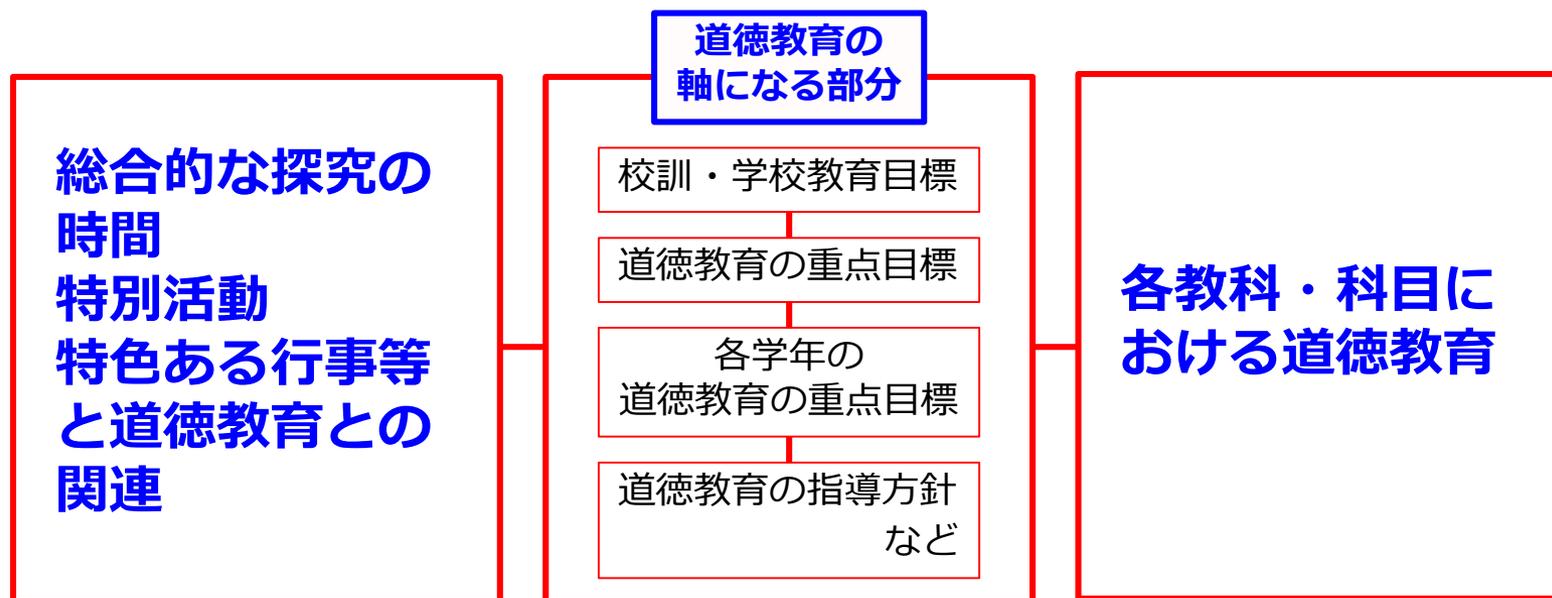
- 1 各学校においては、第1款の2の(2)に示す道德教育の目標を踏まえ、**道德教育の全体計画を作成し、校長の方針の下**に、道德教育の推進を主に担当する教師（「**道德教育推進教師**」という。）を中心に、**全教師が協力して道德教育を展開**すること。なお、道德教育の全体計画の作成に当たっては、生徒や学校の実態に応じ、指導の方針や重点を明らかにして、各教科・科目等との関係を明らかにすること。その際、**公民科の「公共」及び「倫理」並びに特別活動が、人間としての在り方生き方に関する中核的な指導の場面であることに配慮**すること。

〈高等学校における道德教育のポイント〉

- **学校の教育活動全体**を通じて、**全教師が協力**して道德教育を展開する。
- 生徒が**人間としての在り方生き方を考える**機会を設ける。

- 1 高等学校における
道徳教育の概要
- 2 校訓・学校教育目標を活かす**
- 3 チョイ足しによる
道徳教育の推進

道徳教育の全体計画には、決まった形式はありませんが、以下のような三つの部分によって構成されることが多いようです。



校訓・学校教育目標を軸とした 道徳教育の展開

- 自校の校訓、学校教育目標は？
- 校訓、学校教育目標は、日々の教育活動の中で具現化されていますか？

- ・友愛－友を愛し、人を愛す。
- ・士魂商才－武士の精神と商人の才能・知性を兼備すること
- ・至誠：こころの田を耕すことができる生徒
- ・互いに人格を尊重し社会的資性を養う。
- ・真理を見極める目を養い、正しい判断力と強い意志力のもと、自律的な生活態度を育てる。
- ・努力を惜しまず、真摯にものづくりに取り組むことができる生徒

多くの道徳的価値が含まれている！

➤ **学校教育目標を軸とした道德教育を展開するために**

- 先生方が普段行っていることで、校訓・学校教育目標に関わることを共有しましょう！
- 共有したもののから、共通実践できるものを複数選び、全ての教職員がそのうち一つ以上を実践しましょう！

**既に実践していることを共有
つなげて実践！**

〈高等学校における道德教育のポイント〉

- ・学校の教育活動全体を通じて、全教師が協力して展開する。

- 1 高等学校における
道徳教育の概要
- 2 道徳教育の全体計画
- 3 チョイ足しによる
道徳教育の推進**

〈高等学校における道德教育のポイント〉

- 生徒が**人間としての在り方生き方を考える。**



Aさんの選択



Bさんの選択



3 チョイ足しによる道德教育の推進

『高等学校学習指導要領（平成30年告示） 解説 総則編』
第3章第1節の2の(2)③ 道德教育の目標

ウ 「人間としての在り方生き方」を考える

人間は、同じような状況の下に置かれている場合でも、必ずしも全て同じ生き方をするととは限らず、同一の状況の下でもいくつかの生き方が考えられる場合が少なくないが、こうした**考えられるいくつかの生き方の中から、一定の行為を自分自身の判断基準に基づいて選択するということが、主体的に判断し行動するということ**である。社会の変化に対応して主体的に判断し行動しうるためには、**選択可能ないくつかの生き方の中から自分にふさわしく、しかもよりよい生き方を選ぶ上で必要な、自分自身に固有な選択基準ないし判断基準をもたなければならない**。このような自分自身に固有な選択基準ないし判断基準は、**生徒一人一人が人間存在の根本性格を問うこと、すなわち人間としての在り方を問うことを通して形成されてくる**。また、このようにして形成された生徒一人一人の人間としての在り方についての基本的な考え方が自分自身の判断と行動の選択基準となるのである。

生徒に

**自分の在り方生き方について
考える機会を！**

チョイ足しで

特別活動の充実

3 チョイ足しによる道德教育の推進

特別活動で育成すべき
資質・能力の視点

社会参画

- ・よりよい学級（ホームルーム）・学校生活づくりなど、集団や社会に参画する力及び諸問題を解決しようとする力。
- ・集団の中において、個人が集団へ寄与する中で育まれるものと考えられる。

自己実現

- ・集団の中で、自己の生活の課題を発見しよりよく改善する力や自己の理解を深め、自己のよさや可能性を生かす力。自己の在り方生き方を考え設計する力。
- ・集団の中において、個々人が共通して当面する現在及び将来に関わる問題を考察する中で育まれるものと考えられる。

人間関係形成

- ・集団の中で、よりよい人間関係を自主的、実践的に形成する力。
- ・集団の中において、個人対個人という関係性の中で育まれるものと考えられる。

集団・社会

自己

他者

特別活動における学級活動・ホームルーム活動の学習過程のイメージ

別添17-3

学級(ホームルーム)活動

①問題の発見・確認

活動内容
 (i) 学級や学校における生活の諸問題に気付き、その中から議題を学級全員で決定する。話し合いの計画を立て、解決に向けて自分の考えをもつ。
 (ii) 日常生活や自己の課題、目標、学業や進路に関する内容について、教師が設定した課題を確認し、解決の見通しをもつ。

資質能力(例)
 情報の収集・整理などを通し、学級や学校生活、地域・社会の課題を発見する力
 自己の課題に気付く力、自己の適性を把握する力
 目標を設定する力

②解決方法の話し合い

(i) よりよい生活をつくるための問題の原因や具体的な解決方法、役割分担などについて話し合う。
 (ii) 設定された課題の状況や自分の問題の状況を把握し、原因や具体的な解決方法などについて話し合う。

集団活動における自己の役割やその意義についての理解
 協働して問題を解決しようとする態度
 生活を改善したり、将来を見通して自己の生き方を選択したりできる力

◇: よりよい人間関係を育むための思考力・判断力・表現力など

⑤振り返り

実践を定期的に振り返り、意識化を図るとともに、結果を分析し次の課題解決に生かす。実践の継続や新たな課題の発見につなげる。

希望や目標をもって現在の生活を改善しようとする態度
 よりよい生活をつくらうとする態度
 学級や学校の中で自分のよさや可能性を生かそうとする態度
 自己を生かせる生き方や職業を主体的に選択しようとする態度

④決めたことの実践

決定した解決方法や活動内容を責任をもって実践する。

合意形成を図る力、責任ある行動をとることができる力
 課題解決に向かおうとする情意や態度
 よりよい生活をつくらうとする態度
 日常の生活を改善する力、自己の在り方を改善することができる力、意志決定する力

③解決方法の決定

話し合い活動で具体化された解決方法等の中から合意形成を図ったり、意思決定したりする。

※特別活動で育成すべき資質・能力の3つの視点・・・◇: 人間関係形成、○: 社会参画、□: 自己実現

※ここで示した過程は例であり、活動の順序が入れ替わったり、一体化したり、重点的に行われたり、一連の過程がより大きな過程の一部になったりする。

※実践の場は、休み時間や給食の時間、放課後など、必ずしも特別活動の時間とは限らない。

➤ 社会人講話

次のような視点で振り返りを！

- **焦点化**し、内容の振り返り 事前に視点を示す
 - **校訓・学校教育目標に関わる視点で**
- **自分事**として捉えさせる
 - 過去に似たようなことはあったか？
 - 将来、似たような状況の時どうするか？

➤ **社会人講話**

次のような視点で振り返りを！

- **多面的・多角的**に考えさせる
 - 生徒の考えを共有する機会の設定
 - 理想は、意見交流の場を設定

➤道徳科の目標(中学校)

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、**道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習**を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。